

## オバマ大統領の広島平和公園でのスピーチに参列しました

国際科2年6組の安野伊万里さんが、伊勢志摩サミット終了後に広島市を訪問したアメリカのオバマ大統領の平和公園でのスピーチに参列しました。以下、安野さんのレポートです。

「私は5月のオバマ大統領の広島訪問の際に、高校生一人署名活動実行委員会のメンバーとして外務省から招待され、広島平和公園でのオバマ大統領の献花や演説に立ち会うことができました。被爆者の方以外にも小学生から大学生までの多くの若者が招待されており、日本の平和が若者に託されていることが強く感じられました。

オバマ大統領の演説は、核兵器廃絶に対し抽象的で、私にとってはやや残念な内容でした。しかし、核保有国であり原爆投下国でもあるアメリカの現職大統領の被爆地ヒロシマ訪問は、世界の核保有国に対する何かしらの核兵器廃絶へのメッセージになったのではないかと考えています。オバマ大統領にはもう一つの被爆地であるナガサキを訪れてもらい、被爆の現状をさらに知って欲しい、また、長崎の若者と平和について語り合う機会を作って欲しいと強く願っています。」

なお、安野伊万里さんは、第19代高校生平和大使に選出されました。8月にジュネーブ（スイス）の国連本部を訪れ、核兵器廃絶に関するスピーチを行う予定です。



オバマ大統領・安倍首相の献花の前に  
中央：田上長崎市長 右端：安野さん  
右から3番目：内野さん（3年5組 第18代高校生平和大使）

## アメリカ人大学生が国際科の授業に参加！！

6月28日（火）Guy Healy Japanのプログラムで、来日中のアメリカ人大学生8名が来校し、国際科の授業に参加してくれました。この8名は将来教師を志しており、1人1人に対して丁寧に指導してくれました。当日の授業の流れは以下の通りです。

①8名の大学生がリズムに合わせて各自の夢について発表する。



②8つのグループに分かれ、生徒がそれぞれの夢について発表する。  
夢についてのエッセイを大学生に添削してもらい、書き直す。



③大学生と1対1での会話（内容は、夢、学校生活、趣味等）



④大学生と歌って踊りながらお別れ

参加した生徒からは、「1対1で会話したとき、緊張してうまく言葉が出てこなかったのですが、即興性を高めたい」「すごく緊張したが、うまくコミュニケーションをとることができた」との感想が聞かれました。



